

第8章 港湾・空港

第1節 港湾

1 港湾の概要

本県には、重要港湾が秋田港、船川港、能代港の3港、地方港湾が本荘港、戸賀港の2港、計5つの港湾があり、県は、港湾管理者として港湾整備や管理運営を行っています。

重要港湾の秋田港は県内の物流の拠点港として内貿・外貿の物流機能の強化と船舶の大型化に対応した整備を、船川港は男鹿地域の物流港としての整備を、能代港は県北地域の物流港としての整備を進めています。

地方港湾の本荘港は海洋性レクリエーション基地としての機能拡充を、また戸賀港では「ふるさと海岸整備事業」を推進しています。

◆秋田県港湾図



◆入港船舶及び海上出入貨物（平成9年）

（単位：隻・総トン・トン）

		入 港 船 舶		海 上 出 入 貨 物		
		隻 数	総トン数	合 計	出 貨	入 貨
甲	秋田港	2,904	6,484,984	6,099,737	546,271	5,553,466
	船川港	1,169	762,961	1,042,750	364,888	677,862
	能代港	346	1,881,230	2,703,512	10,778	2,692,734
乙	本荘港	616	6,213	277		277
	戸賀港	2,272	40,502	288		288
	計	7,307	9,175,890	9,846,564	921,937	8,924,627

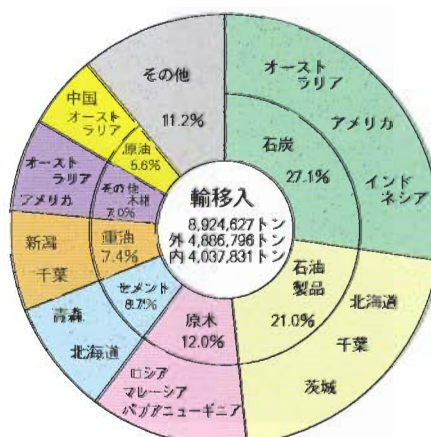
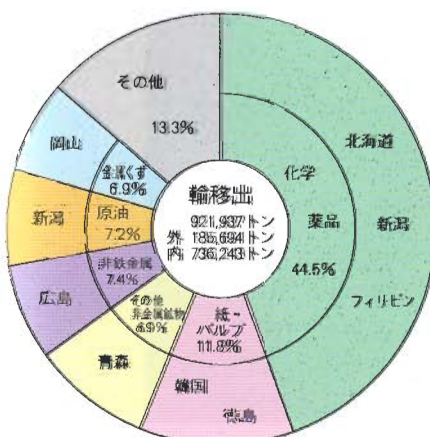
◆入港船舶総トン数別比較（平成9年）

県 内 全 港

	隻 数	総トン数
10,000総トン以上	2.3	171
6,000総トン以上	0.3	22
3,000総トン以上	7.5	547
1,000総トン以上	7.6	552
500総トン以上	9.0	660
100総トン以上	14.0	1,022
5総トン以上	59.3	4,333
合 計	100.0%	7,307

◆出入貨物別品種別比較（平成9年）

県 内 全 港



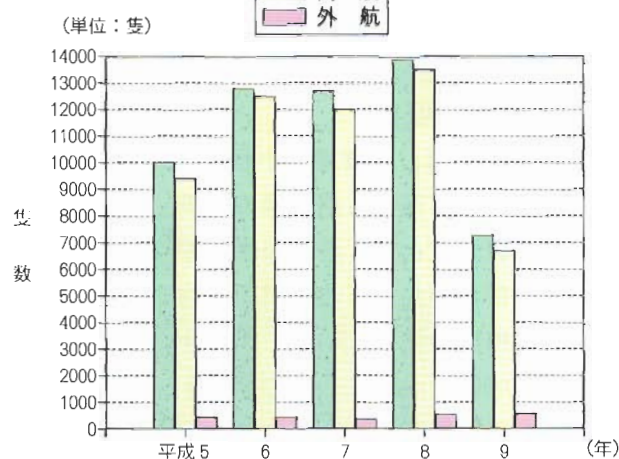
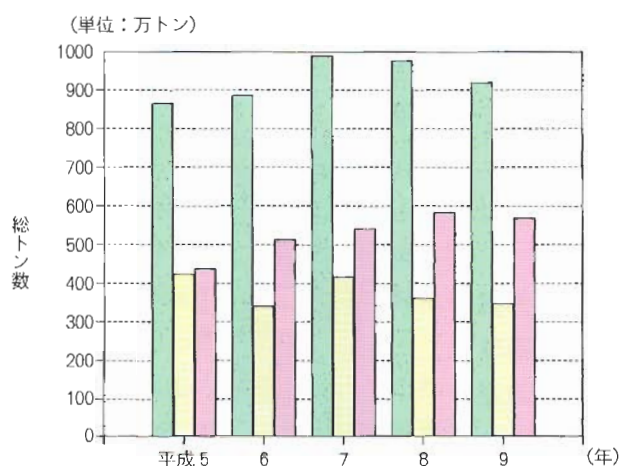
◆外貿コンテナ貨物取扱個数

（平成7年11月航路開設）

	輸入	輸出	計
平成7年	140	206	346
8	4,936	1,775	6,711
9	7,211	3,407	10,618

20フィートコンテナ換算

◆入港船舶のうごき 県内全港



2 港湾事業

各港の整備方針と事業計画

[秋田 港]

- ① 環日本海時代に向けた物流拠点港としての整備が急務となっており、新設岸壁の早期利用に向けた防波堤の整備を進めます。
- ② 豊かで潤いのある港湾環境の形成を図ります。
- ③ フェリー航路開設に備えた関連施設の整備を進めます。
- ④ 海洋性レクリエーション基地としてマリーナ等の整備を進めます。

「平成10年度主要事業」

防波堤、岸壁(−7.5～−12.0m)、航路・泊地(−4.5～−13.0m)、緑地及びコンテナ施設(ガントリークレーン)等の整備を進めます。



秋田港全景

[船 川 港]

- ① 地域振興のための小型船だまりの整備を進めます。
- ② 海洋性レクリエーション基地としてマリーナ、緑地等の整備を進めます。

「平成10年度主要事業」

防波堤、緑地等の整備を進めます。



船川港全景

[能 代 港]

- ① 県北地域の物流基地として、防波堤、大型岸壁等の整備を進めます。
- ② 港湾環境施設として緑地の整備を進めます。

「平成10年度主要事業」

防波堤(改良)、岸壁(-13m)、緑地等の整備を進めます。



能代港全景

[本 莊 港]

海洋性レクリエーション基地としての充実を図るため外郭施設及び港湾環境の整備を進めます。

「平成10年度主要事業」

防波堤(沖)、緑地(シーサイド・オート・ビレッジ整備事業等)の整備を進めます。



本莊港全景

3 海岸事業

運輸省所管の県内海岸延長は約46.5kmであり、うち約26.5kmが、津波、高潮、波浪などの被害から海岸を防護する海岸保全区域に指定されています。

海岸事業では、日本海特有の季節風浪から県土を保全する海岸侵食対策や快適で魅力ある海岸空間を創出する海岸環境整備等の事業を推進します。

(1) 海岸環境整備

海浜における日常レクリエーションの需要に対応し、快適で魅力ある施設の整備を進めるため、秋田港飯島地区のマリーナ北側海岸の離岸堤（潜堤）、能代港落合地区において突堤の整備を推進します。

本荘港田尻地区において、訪れる人が憩いの場として利用できるよう突堤の改良を進めます。



本荘マリーナ

(2) 海岸侵食対策

地域住民が海辺とふれあい、安全で景観に優れた海岸空間の創出を図るため、戸賀港戸賀地区で、「ふるさと海岸整備事業」により、多面的な機能をもった階段式護岸の整備を進めます。

また、秋田港向浜地区、本荘港水林地区で海岸線の侵食を防止するため、離岸堤を整備します。



戸賀港全景

4 主要プロジェクト概要

[秋田港ポートルネッサンス21事業]

秋田港の港湾機能を多角的に活用するため、民間事業（第三セクター）を導入しながら、豊かな港湾空間の形成と地域活性化の核としての整備を進めます。

《事業計画の概要》

- ① 事業期間 昭和63年度～平成12年度
- ② 施設整備計画
 - 1) 公共整備施設
 - イ 臨港道路及び緑地等の基盤施設の整備を進めている。
 - ロ 民間施設と一体的に活用でき、冬でも緑豊かで潤いのある施設として、平成6年度に完成した覆い付き緑地「セリオン リスタ」内部の緑量アップを図る。
 - 2) 第三セクター整備施設
 - イ 本事業のシンボルとして「ポートタワー・海の展示館」（愛称「セリオン」：シーパビリオンの略）、平成6年4月8日オープン。（展望室床高100m）
 - ロ コンベンションセンター、ポートセンター、港湾複合機能ビル等を今後整備する。
 - 3) 民間整備施設 ホテル、商業施設、旅客駅等の立地に努める。
- ③ 想定事業費310億円



ポートタワーと覆い付き緑地



覆い付き緑地「セリオン、リスタ」内部

[秋田港コンテナターミナル整備事業]

外貿コンテナ定期航路の拡充に伴い、増大しているコンテナ取扱貨物量に対応して、荷役効率の良いガントリークレーンの整備を進めます。これと併せて既存ふ頭用地を改良しコンテナヤードとして整備します。

《事業概要》

- ① 事業期間：平成9年度～平成11年度
- ② 施設整備計画（公共整備施設）
 - 1) 外港地区にコンテナ専用荷役機械であるガントリークレーンを1基整備します。
 - 2) 外港地区の既存ふ頭用地0.8haを新しいコンテナヤードとして整備します。（全体計画：1.6ha）



[長距離カーフェリー関連施設整備事業]

長距離カーフェリーの定期就航に対応した関連施設を整備します。

《事業概要》

- ① 事業期間：平成9年度～平成10年度

② 就航予定ルート：

苫小牧～秋田～新潟（週5便）

苫小牧～秋田～新潟～敦賀（週1便）

③ 施設整備計画

1) 公共整備施設

イ 平成9年度は、駐車場・排水工・防護柵工等を整備しました。

ロ 平成10年度は、防衝工・係船柱工・浚渫工等を整備します。

2) 民間整備施設

旅客ターミナルを整備する予定です。



第2節 空 港

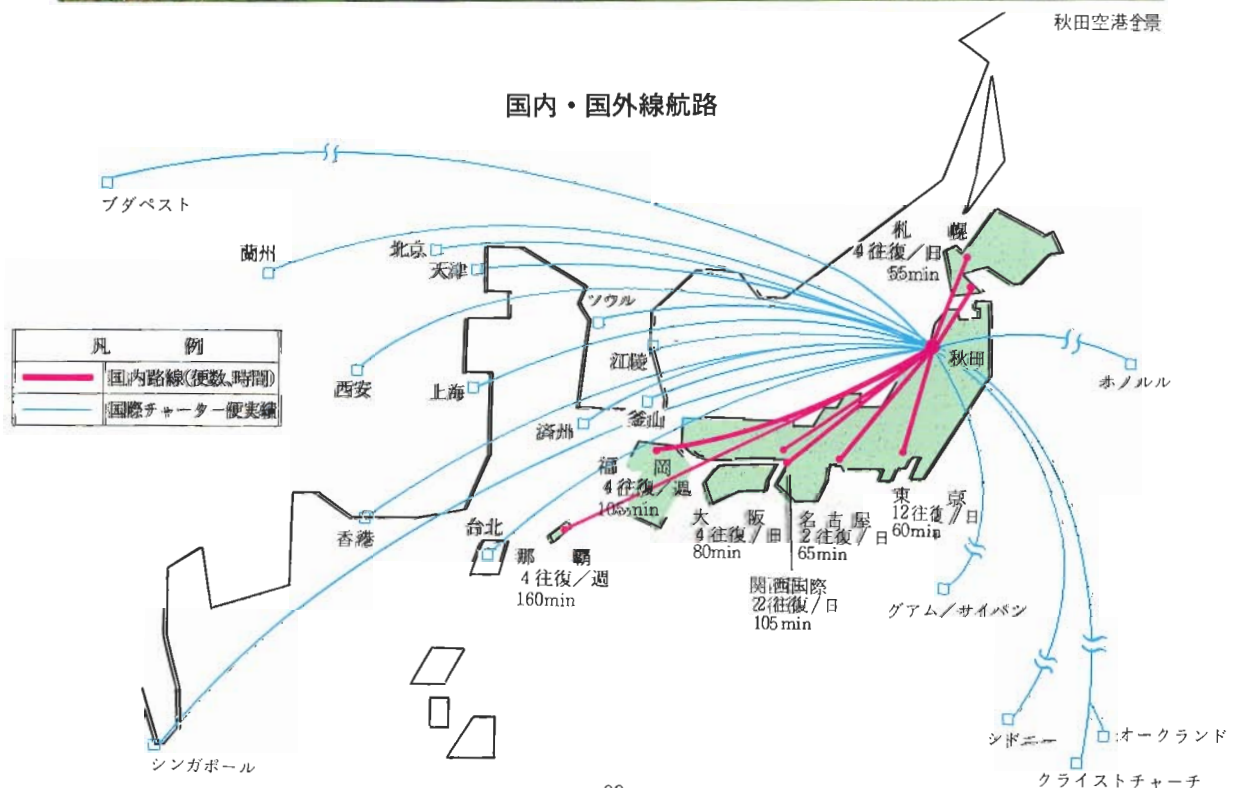
1 秋田空港の概要

本空港は、県都秋田市の南東25kmに位置し、面積約160ha、長さ2,500mの滑走路と計器着陸装置（ILS）などを備えています。また空港周辺は、600haの広大な県立公園として整備され、緑豊かな都市公園型空港となっています。

就航路線は、東京、大阪、札幌、名古屋、関西国際、福岡、那覇の7路線で、1日12便のほか、週4便（福岡線・那覇線）の往復運航がされています。利用客数は順調に伸び、平成5年6月15日には開港以来の利用客数が1千万人を突破するなど、着実に県民の足として定着しています。さらに昨年11月には那覇線が開設され、益々利用の増加が見込まれます。また最近では国際定期便の乗り入れを目指す動きも活発化しています。



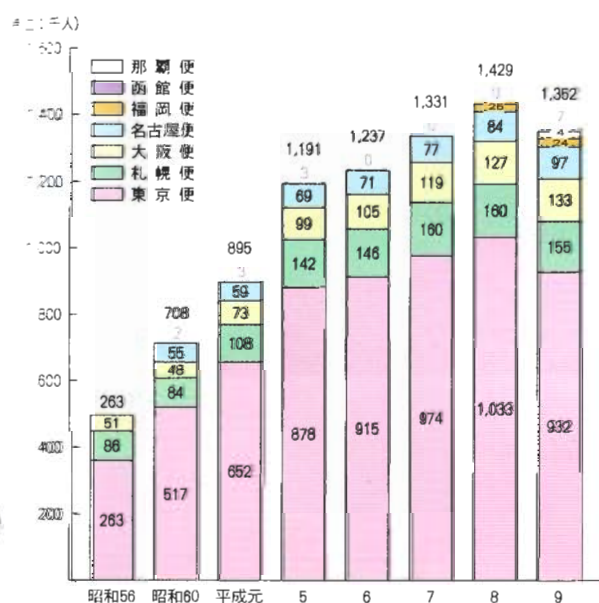
秋田空港全景



◆空港施設の概要

設 置 者	運輸大臣	場 周 道 路	長/6,455m 巾/5.5m
管 理 者	秋田県知事	駐 車 場	25,967㎡ (787台)
空港の名称	秋田空港	照 明 施 設	進入灯・滑走路灯・誘導路灯・エプロン灯等
空港の位置	秋田県河辺郡雄和町椿川	無 線 施 設	ILS (計器着陸装置)・VOR/DME
空港の標点	北緯 39° 36' 46"		(超短波全方向性無線標識/距離測定装置)
	東経140° 13' 19"	庁舎管制塔	一式
空港の標高	93.0m	通 信 施 設	一式
空港の種別	第2種B級	気 象 施 設	一式 (風向風速・雲高・視程計)
空港の総面積	1,588,900㎡ (告示面積)	消 防 施 設	40 t 水槽 8 基 (化学消防車 1 台)
着 陸 帯	長/2,620m 巾/300m	除 雪 施 設	除雪機械等一式
滑 走 路	長/2,500m 巾/60m	ターミナルビル	国内線棟 3 階建 (10,995㎡) 国際線棟 (一部 3 階建 3,471㎡)
誘 導 路	長/2,830m 巾/30m	貨 物 ビル	2 棟
エ プ ロ ン	長/310m 巾/190m (5 バース)	給 油 施 設	200kl / 2 基
排水施設	一式		

◆秋田空港定期便利用実績



◆秋田空港からの国際チャーター便の実績

単位: 回

	56~4年	5年	6年	7年	8年	9年	合計
韓 国	51	13	20	44	27	8	163
中 国	22	3	5	3	4	4	41
台 湾	9	2	2		2	3	18
香 港	44	2	5	10	11	5	77
シンガポール	12	4	2	3	—	1	22
ハ ワ イ	18	2	1	2	7	3	33
グ ア ム	16	3	2	9	9	6	45
サイパン	18	3	7	6	2	3	39
そ の 他	18	3	7	6	2	3	39
合 計	190	32	44	77	62	33	438

◆貨物取扱実績

(単位: トン)

	56 年	60 年	元 年	5 年	6 年	7 年	8 年	9 年
貨 物								
国内線	1,063	2,771	3,973	4,895	5,033	6,162	6,060	6,570
計	1,063	2,771	3,973	4,895	5,033	6,162	6,060	6,570
郵便								
国内線	210	1,003	2,675	2,295	2,184	2,405	2,440	2,580
計	210	1,003	2,675	2,295	2,184	2,405	2,440	2,580
合 計	1,273	3,774	6,648	7,190	7,217	8,567	8,500	9,150
指 数	100	296	522	565	567	673	668	719

2 大館能代空港の概要

本空港は、県北部の鷹巣町に位置し、面積は約120haで、長さ2,000mの滑走路と計器着陸装置（ILS）などを備えています。

平成10年7月18日に開港し、就航路線は、東京、大阪、札幌の3路線となっています。また、空港周辺については、緩衝緑地帯を活用した周辺整備事業を進めています。

(1) 空港の概要

- ・空 港 種 別 第三種空港（県設置・管理）
- ・建 設 地 鷹巣町脇神
- ・標 高 84.0m
- ・滑走路方位 N80° W
- ・面 積 空港本体用地面積 121.4ha
- ・工 事 概 要 用地造成（土工事） 切土 720万 m^3 盛土 720万 m^3
 - 滑走路長 2,000m 巾 45m
 - 舗装面積 約140,000 m^2
 - 誘導路長 230m 巾 30m
 - 舗装面積 約 13,000 m^2
 - エプロン
 - 中型ジェット3バース
 - 小型ジェット1バース
 - 舗装面積 約25,000 m^2
 - 駐車場 台数386台
 - 面積 約14,000 m^2
 - ターミナルビル用地面積 約 8,700 m^2
 - ターミナル地区面積 約 52,000 m^2
- ・総事業費 約344億円
- ・開 港 平成10年7月18日



(2) 周辺整備事業（緩衝緑地）

① 事業内容

空港の緩衝地帯として設定された自然と緑に富んだ土地を活用し、多目的スポーツコース、展望台等地元住民に利活用される施設整備を行います。

② スケジュール

- | | |
|--------|--|
| 平成6年度 | 用地取得 176ha |
| 平成7年度 | 基本設計 |
| 平成8年度 | 実施設計、前庭、センターハウス用地造成他 |
| 平成9年度 | 前庭施設整備、センターハウス、ステージ建築、多目的スポーツコース造成路盤工、展望園地造成 |
| 平成10年度 | センターゾーン芝生広場、駐車場、多目的スポーツコース舗装、展望園地設備 |